【別紙】優秀発表一覧及び最優秀賞に係る講評

(1) 治山・林道部門（３件）

No.	発表題目・発表者
8	林道寺澤洞山線における FRD を活用した森林作業道の検討 静岡県賀茂農林事務所　森林整備課　技師　大畑 慶祐
6	湖西市海岸防災林の保安林機能評価と今後の管理方針の考察 静岡県西部農林事務所　森林整備課　技師　加藤 ひなの
2	LiDAR 測量を用いた治山測量の展望 静岡県志太榛原農林事務所　治山課　技師　中嶋 優介

【講評　No.８　林道寺澤洞山線における FRD を活用した森林作業道の検討】

林道の路線選定において活用が進んでいる FRD の有用性を検証した事例であり、今後の林道や森林作業道の路線選定の時間短縮、コスト縮減の道筋が示された。林業経営体等が行う森林作業道の計画等への積極的な活用が期待される。

また、実際の現場において、FRD の結果を再検証してしていただきたい。

(2) 森林・林業部門　（２件）

No.	発表題目・発表者
9	企業が森林・林業に求める価値とは　～「天林の会」の事例～ 静岡県西部農林事務所天竜農林局　森林整備課　技師　日比谷 建瑠
7	自走式機械による下刈りの省力化及び植栽木の成長に与える影響の評価 富士森林組合　事業課森林計画係　四條 洋輝 静岡県富士農林事務所　森林整備課　技師　小田巻 功大

【講評　No.９　企業が森林・林業に求める価値とは　～「天林の会」の事例～】

本発表は、林業経営体が木材生産以外の収入源を開拓する「森業(もりぎょう)」への先進的な取り組みを紹介するもので、現下の林業経営課題に対して極めて時宜を得た事例報告であった。

特に評価される点として、異業種とのアプローチを戦略的に展開している点が挙げられる。ビジネスモデル確立という最終目標に向けて、取組の軸にブレがなく、一貫性のある経営戦略が示されていることが印象的である。

このような多角的な価値創造の視点は、今後の林業経営の新たな可能性を示唆するものとして、高く評価する。